

日本会議 愛知県本部
〒464-0836
愛知県名古屋市千種区菊坂町3-5-302
E-mail: tokai-seikyo@mtc.biglobe.ne.jp

TEL:052-763-4678
FAX:052-763-4588



あいち通信 第七十六号

日本女性の会愛知の集い 開催される

去る十月六日、日本女性の会愛知の集いが開催された。同会は、日本会議愛知県本部の女性組織として平成二十二年に設立され、古市富子前会長の下に様々な女性運動が取り組まれて来た。この度、古市氏の退任に伴い、新会長に西村和子氏が推挙された。西村新会長は、名古屋学院大学元学長西村高夫氏(故人)の令夫人であり、「和らぎ健康センター」と称したヨガ道場を主宰され、多くのお弟子さんを指導しておられる。

今後は、新たな体制で女性運動が展開されるが、女性の視点からの憲法改正運動や教育改革運動に取り組んで行くこととなった。
(愛知県本部 事務局 服部守孝)

北名古屋「市政クラブ」平和安全シンポジウム参加報告

去る十一月七日、北名古屋市議会議員による市政クラブが主催する平和安全シンポジウムに参加させていただいた。名鉄大山線西春駅から北西に一キロほどの場所にある北名古屋市文化勤労会館の大ホールで開催された。日本会議会員である神田かおる市議はこの市政クラブの幹事長であり、平和安全シンポジウムの司会進行役を務められた。シンポジウムは三部構成となっており、一部は七月二十七日、二十八日に一泊二日で市政クラブが自衛隊沖繩那覇基地を視察したときの報告、第二部がヒゲの隊長と参議院議員の佐藤正久氏の基調講演、そして第三部は平和安全法制についてのパネルディスカッションである。

自衛隊沖繩基地防衛研修報告は桂川将典市議により行われた。年々スクランブル発進が増加し昨年度は四百五十回以上のスクランブル発進が行われたこと、中国から見た第一列島線、第二列島線、太平洋への出口についての野心への危機意識が必要であることを訴えられていた。地方議員でありながらここまで国防に対する意識が高いのかと驚かされた。この沖繩視察は公費は一切使われず自費で行われたとのことにも感心させられた。

第二部はヒゲの隊長の基調講演である。安倍総理も認めている国民の平和安全法制に対する理解が浅いこと、佐藤氏は自民党本部から少しでも国民の平和安全法制への理解が深まるよう訴えて回れと言われているので日夜全国を飛び回っているという。奥様からは「選挙が終わったから楽になるって言うてたのに話が違ふー」と責められているので家庭内が戦闘地域となっていると冗談交じりで話されていた。また、平和安全法制の採決の混乱の後からニックネームがヒゲの隊長か



日本の安全と 平和な暮らしを守る 平和安全法制

日本人の誰一人として、戦争など望んでいません。
子供たちに平和な日本を引き継ぎ、そして、
日本と世界の平和を守るためにも、平和安全法制が必要です。



ら「パン子佐藤」に変わったという最近の持ちネタも披露していただいた。自衛隊は法律がないと一ミリも動けない、最近高まってきている周辺国の脅威に対して平和安全法制がいかに必要であるか、抑止力となるかをわかりやすく解説していただいた。今や自国だけで防衛できる国はない、集団的自衛権は必要不可欠であることも力強く訴えられた。また、国会議事堂前の反対デモはテレビでは映りのいい若者や赤ん坊を抱いた若い母親を映しているが実際にはほとんどがお年寄りであるというのが実態であることなど現場にいないとわからないことなども教えていただいた。

第三部はパネルディスカッション、佐藤正久氏に市政クラブのメンバー、それに愛知県議会議員の水野富夫氏も加わり平和安全法制についての議論を交わした。長瀬悟康市議は、平和安全法制は特定アジア以外のあらゆる国から支持を受けているのに、マスコミはそういった事実を報道せずに反対派のことばかりを報道することを嘆いていたことが非常に印象的であった。このシンポジウムの後、佐藤正久氏を名古屋駅までお送りしたのは、我が南都心みひる県議であったこともお知らせしておきます。

何はともあれ、一地方の市議会議員の集まりが国家の防衛に対してこれほど高い意識を持ち千人近い人を集めてこのような意義あるシンポジウムを開催するということが未だかつてあつたでしょうか。確実に国民の国防に対する意識が高まってきていることを肌で感じた次第でした。
(愛知県本部 事務局 松川秀康)

報告・名古屋東部支部第二十五回 街頭演説活動実施!

●開催日時 十月二十五日(日) 午後一時〜午後三時 ●場所 昭和区 御器所交差点南西角地 ●会費 無料 ●参加者数 五名(街宣)秋らしい穏やかな日差しの中、街宣を行いました。憲法改正に対し明確な反対意見を表明させる方もいらつしやいました。今度も多くの方がチラシを手にとり取っていただきました。☆次回予定 十一月二十九日(日) ●内容 街頭演説活動「自主憲法制定について」 ●場所 御器所交差点周辺 ●時間 午後一時〜三時 ※終了後、付近の喫茶店にてミーティングを予定しております。
●お問合せはメール(kakenashi_katou@hotmail.co.jp 加藤貴之宛までお気軽にご連絡の程、宜しくお願致します。
(愛知県本部 名古屋東部支部 事務局 長加藤貴之)

陵墓参拝記 その十

西日本巡礼の旅三日目、午前十時半の博多港出発のジェットフォイルに乗り対馬に向かいました。この日は朝鮮半島に抜けた台風の影響で天気晴朗なれど波高しの状態で日露戦争での日本海海戦がこの海域で行われたこと、思いを馳せました。しかし船は結構揺れたので少々酔い状態となつてしまいました。これでは海軍はとも務まりません。



途中、吉岐の芦辺港を經由し対馬の厳原港には十二時四十五分に到着、二時間ほどの船旅でした。対馬は切り立つ壁のような山々が海に迫る非常に荒々しい雰囲気です。途中の吉岐はそれとは対象的に高い山がなく一帯がなだらかな丘陵地のような優しい雰囲気です。港近くのガソリンスタンドで予約してあったレンタカーを借りて参拝に出発です。対馬に陵墓は何か所あります。安徳天皇の佐須陵墓参考地です。下対馬の南端から数キロ北の朝鮮半島側海岸近くに位置します。この地域の人は対馬宗氏の始祖は

安徳帝と信じきっている、と案内板には説明されていました。実は安徳天皇は壇ノ浦から逃げ延びていたということになります。十分考えられることであると思えました。二礼二拍手一礼。



ハングル文字表記もあるのが何とも複雑な気持ち



この後下対馬の式内社を五か所参拝しました。二礼二拍手一礼。いずれの神社も神功皇后の三韓征伐に

関わるいわれのある神社で、朝鮮半島が近いこの地は半島に渡る前にいったん停泊して戦を準備した寄港地であったのだと実感しました。この日は対馬に宿泊、近くにはお土産屋さん「日本観光物産館」がありまして。そう、韓国人観光客向けなので「日本」をつけているのです。非常に違和感を感じます。月曜日だったので韓国人観光客は一人も見かけませんでした。土日は韓国人で溢れかえるそうです。もともと多くの日本人が対馬を訪れ三韓征伐の古代ロマンを肌で感じて欲しいものです。



翌日は朝六時四十五分のジェットフォイルで吉岐の芦辺港に降り、レンタカーを借りました。吉岐には陵墓はなく何力所かの式内社を参拝しました。二礼二拍手一礼。やはり三韓征伐ゆかりの神社が多くありました。見た目にたがわず吉岐の道路は全対馬のように険しい山道は全くなかアツブダウンの少ない緩やかなカーブしかない運転のしやすい道路ばかりでした。午後二時四十五分のジェットフォイルに乗りこみ午後三時半に博多に戻りました。それから車で三十分ほど移動し太宰府天満宮を参拝、二礼二拍手一礼。夕方でしたが多くの中国人観光客で賑わっていました。この日は天満宮近くの二日市温泉のビジネスホテルに宿泊しました。近くの海鮮居酒屋で飲んだのですが大将とアルバイトの学生相手に対馬、吉岐に渡ってきた話から三韓征伐の話、古事記の話と進み、中国の脅威について共感をいただき憲法改正が必要であることに納得いただき最後には憲法改正署名をいただきました。(愛知県本部事務局 松川秀康)

愛知県護国神社清掃奉仕予定

- 12月6日(日)午前8時開始、9時終了予定。
※明年は1月10日(日)午前8時開始とします。
■軍手を必ずご持参ください。また、小雨なら社屋の木杵拭きをしますので雑巾をご持参下さい。大雨は中止になりますが疑わしい天気の場合には、現場責任者の服部宛、電話(070-6583-4588)を下さい。
★11月1日は、20名の方が参加していただきました。1名の方が初参加でした。ありがとうございました。



(11月1日 奉仕後に撮影)

●「日本の息吹」を引続きご購入くださいますようお願いいたします。

事務局日誌(十月)

服部守孝

二日(金)第二回賛同者拡大推進会議を開催。十一月十日の武道館大会に向けた目標数の確認などがなされた。
六日(火)日本女性の会愛知の集いに参加。新会長に西村和子氏が推挙された。詳細一面十日(土)奈良県吉野市で開催された、後醍醐天皇とその忠臣の足跡を訪ねる二泊三日の合宿に参加。美しく生きた先人の思いを心に刻んだ。吉野にて詠める歌四首
山挙げてすめらみことに仕へたる
吉野人らのたふとかりける
ひとつ身を捧げし数多人ありて
吉野深山は悲しがるける
山に伏し地に伏し天を仰ぎつつ
仕へまつれる吉野行者は
み吉野の深山に在して北闕を
望みし帝の心悵ばゆ
十四日(水)愛知県遺族大会に参加。記念講演では、金美齡氏が「英霊に捧げる感謝の言葉」と題して話された。
二十日(火)所用にて滋賀県へ。彦根城散策や、びわ湖遊覧船にも乗った。彦根藩主の井伊直弼は、安政の大獄で勤皇の志士を弾圧し悪者のイメージがあるが、地元では今でも名君として崇められている。
二十六日(月)来夏の、第十五回もうひとつの戦争企画会議を開催。主題などについて話し合っ